川崎市職員（大学卒程度）採用試験　行政事務・学校事務区分　小論文試験課題（過去3年分）

年度	課題
令和6年度	川崎市は、令和6（2024）年7月1日に市制100周年を迎えます。 川崎市では、市制100周年という歴史的な節目に、川崎市ブランドメッセージへの市民の共感を喚起し、改めて共有するとともに、将来にわたって、誰もが暮らしやすい笑顔あふれる「最幸のまち」へつなげていくため、この契機を未来に向けた活力ある「あたらしい川崎」を生み出していく新たなスタートラインとし、オール川崎市で取り組んでいます。 このことを踏まえ、川崎市の職員として、次の100年に向けてどのような視点により、どのような施策に取り組むべきか、具体的に提案してください。 【参考】「川崎市ブランドメッセージ」 Colors,Future!　いろいろって、未来。 多様性は、あたたかさ。多様性は、可能性。 川崎は、1色ではありません。 あかるく。あざやかに。重なり合う。 明日は、何色の川崎と出会おう。 次の100年へ向けて。 あたらしい川崎を生みだしていこう。
令和5年度	川崎市では、令和2（2020）年に策定した脱炭素戦略「かわさきカーボンゼロチャレンジ2050」及び令和4（2022）年に改定した「川崎市地球温暖化対策推進基本計画」に基づき、令和32（2050）年の脱炭素社会の実現に向けて、再生可能エネルギーの導入やエネルギーの最適利用の推進、次世代自動車等の普及促進、グリーンイノベーション推進など、市民・事業者などの多様な主体との協働により、地球温暖化の原因となる二酸化炭素等の排出量削減に向けた取組（緩和策）を進めています。 今後、脱炭素化の取組を一層加速化させるためには、どのような取組を行えばよいか、川崎市が持つ地域資源、地域特性などを踏まえながら、具体的な取組について提案してください。
令和4年度	川崎市では、市制100周年の節目を迎える令和6（2024）年度に開催予定の「全国都市緑化かわさきフェア」を契機とした「みどりのムーブメント」を推進しています。フェア終了後も、かわさきフェアのレガシーとなる地域愛を持った市民が、次の100年に向けて、川崎らしくより豊かな環境をつないでいくためには、今後どのような取組みを行えばよいか、川崎市が持つ地域資源、地域特性などを踏まえながら、具体的な取組みについて提案してください。 （参考）全国都市緑化フェア 国民一人ひとりがみどりの大切さを認識するとともに、みどりを育み、楽しめる知識を深め、みどりがもたらす快適で豊かな暮らしがあるまちづくりを進めるための普及啓発事業として、昭和58（1983）年から毎年、全国各地で開催される国内最大級の花と緑の祭典。